

令和5年9月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
袋井市議会を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
9/5(火)午前	1	木下 正	一問一答	3
	2	村松 和幸	一括	4
	3	鈴木 賢和	一括	6
9/5(火)午後	4	高木 清隆	一括	7
	5	竹野 昇	一問一答	8
	6	大場 正昭	一括	10
9/6(水)午前	7	竹村 眞弓	一問一答	12
	8	大庭 通嘉	一問一答	13
	9	村井 勝彦	一問一答	14

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	議席番号	6	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	学力・学習状況調査について (1) 本年度のデータも含め、過去のデータをどのように分析しているか。その分析・検証に基づく課題の対処策を策定し、活用すべきと考えるが所見を伺う。 (2) 国立教育政策研究所が公表している全国学力・学習状況調査結果のデータ比較・分析はどのようにしているか。 (3) 同研究所が「全国学力・学習状況調査 授業アイデア例」を公表しているがどのように活用しているか。 (4) 課題対応のため、学校や保護者のみならず地域や各種団体等の協力も必要と考えるが所見を伺う。				教育長
2	総合防災訓練の取組について (1) 国や地方公共団体、住民等多くの主体が連携した訓練、袋井市における手順はどのようなものか。 (2) 市が多くの主体と連携をとるために行っている訓練内容を市民や関連団体にどのように周知しているか。 (3) 住民が適切な避難行動を判断するのに必要な情報をスマートフォンアプリ等さまざまなツールを用いて受信や発信できるようにするなど、実態に即した訓練は重要であると考えが所見を伺う。 (4) 連携した防災・減災活動のため、市民と袋井市が共有できる防災教育は企画しているか。				市長

質問順序	2	議席番号	5	質問者	村松 和幸
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	本市のゼロカーボンシティへの取組について 袋井市は、望ましい環境像として掲げる「人と自然にやさしい環境を みんなで 創り 守り 育てるまち ふくろい」の実現と、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、全力で取り組んでいくことを宣言した。そのことから、今後の本市のゼロカーボンシティへの取組について伺う。 (1) ゼロカーボンシティへの取組をどのように進めていくのか、今後のビジョンを伺う。 (2) 行政だけの取組では実現できない事柄であることから、市民や事業者の皆さまへの啓発活動も重要であると考えますがどうか。 (3) 昨年度、P P A方式により、公共施設に太陽光発電設備を設置したが、その成果と課題は。また、今後どのように進めていくのか。				市長
2	災害避難の多様性について 近年、各種災害が激甚化しており、南海トラフ地震においても、いつ起こってもおかしくない状況にある。災害時には、自助が基本ではあるが、避難所の重要性が増す。指定避難所には、キャパシティを超えた避難者が押し寄せることも考えられるほか、在宅避難者を含めて、要配慮者への支援も必要であると思うことから、災害避難の多様性についても考えていく必要があるのではないか。 (1) 被災時には、車中避難も多くなってくることが考えられる。指定避難所に車が入りきれないときには、本市管理の公園などを開放することは考えているか。 (2) 最近では、防災公園を整備する自治体も増えてきている。本市としても、公園の維持管理、整備時に防災機能を備えていく考えはあるか。 (3) 自助が基本であることは間違いないが、医療的ケアが必要な方や、障がい者など、災害弱者に対して受け入れ方や対応はしっかり考えられているか。 (4) 日本語が堪能ではない外国籍市民への対応はどうであるか。				市長
3	久野城址保存会の日本城郭協会大賞を受けて 日本城郭協会は1955年に発足し、日本100名城を認定してきた。また城郭や城跡の保存などに取り組む団体・個人を顕彰している。久野城は戦国時代に久野氏が本拠とした平山城で、保存会は1977年に結成された。整備活動の結果、城跡は本市の史跡に認定され、地域のシンボルや活動の核となっている。保存会は近年、小学生を対象とした「久野城教室」なども開いていることが評価され、同協会大賞に選ばれた。				教育長

質問順序	2	議席番号	5	質問者	村松 和幸
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3	<p>《一括》</p> <p>(1) 久野城址保存会が今年度の日本城郭協会の大賞を受賞したが、この受賞は保存会のどのような活動が評価されたと考えているか。</p> <p>(2) 大賞受賞という栄誉を広く市内外に発信していく必要があると思うが、どのように考えているか。</p> <p>(3) 大賞受賞には、袋井北コミュニティセンターの袋井北地区まちづくり協議会の果たしてきた役割も大きかったと思うが、どのように考えているか。</p> <p>(4) 久野城址に生い茂っていた樹木等が伐採され、城跡の遺構がよくわかるようになったが、この事業はいつ完了するのか。また、その後の景観維持のための事業はどのように進めていくのか。</p> <p>(5) 本市は文化財保存活用地域計画を策定したが、このような取組を全市に展開する用意はあるか。</p>				教育長

質問順序	3	議席番号	2	質問者	鈴木 賢和
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	UD（ユニバーサルデザイン）タクシーの増車について UDタクシーは、一般のタクシーよりもバリアフリーな設計となっている車両で、特に車椅子利用者や高齢者などが利用しやすいように配慮されています。現在、袋井市内、全交通会社の保有台数は53台のうちUDタクシーは1台、UDタクシー以外の車椅子対応の車両が2台と台数が限られており、必要に対して対応できていないと考えられます。				市長
	(1) UDタクシーは、車椅子利用者や高齢者、障がい者の移動をサポートする重要な手段です。ただし、現状ではUDタクシーの数が十分ではないため、利用者の要求に対応しきれていないと感じています。UDタクシーの増加により、地域全体のバリアフリーな社会の実現や、自由移動と利用しやすさの向上が期待されます。そのため、なぜUDタクシーの増加が進まないのか、本市としてどのように把握されているのか本市の考えをお伺いいたします。				
	(2) 地域の住民や利用者へUDタクシーや福祉タクシーの利用手順を広く知らせるための取組が進められているかお伺いいたします。				
2	熱中症対策の推進について 気候変動の影響により、国内の熱中症死亡者数は増加傾向が続いており、近年では、年間千人を超える年が頻発するなど、自然災害による死亡者数をはるかに上回っています。今後、地球温暖化が進行すれば、極端な高温の発生リスクも増加すると見込まれています。				市長
	(1) 熱中症対策における庁内連携体制と対応策についてどのように考えているのか、お伺いいたします。				
	(2) クーリングシェルターについてどのように考えているのか、お伺いいたします。				
	(3) 高齢者の熱中症に対する予防への意識を醸成するための取組についてお伺いいたします。高齢者の皆さまへの効果的な熱中症予防を進めるために、介護や地域保健部門の関係者と連携し、どのような取組を進めていかれるのか、お伺いいたします。				
	(4) 高齢者世帯のエアコンの整備や点検を促す取組について、お伺いいたします。				
	(5) 熱中症から地域住民の生命を守るための取組の推進について、お伺いいたします。				
	(6) エアコンの利用控えについて、お伺いいたします。				
	(7) 子どもの熱中症防止の取組について、お伺いいたします。				教育長

質問順序	4	議席番号	19	質問者	高木 清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	消防体制の確立に向けて 複雑化・激甚化する災害に対応できる消防力の向上・維持・確保に向け、現状の災害活動体制については、見直すとともに、10年先を見据えた消防力整備計画の策定が必要である。 (1) 消防団組織の再編に向けた協議が必要では。 ア 消防団員の定数について イ 消防団組織・配備車両の再編について (2) 袋井市消防団ビジョンの作成に取り組むべきでは。 (3) 袋井市消防力（常備消防＋消防団＋自主防災隊）整備計画の策定に取り組むべきでは。				市長
2	スポーツ施設整備の在り方について 日本一健康文化都市の実現のためには、スポーツ振興を図ることは不可欠であり、市民ニーズに応えられるスポーツ施設整備・充実にに向けた取組は重要である。 (1) 袋井市スポーツ施設3Rプロジェクト策定から3年が経過、 ア 現状における施設の老朽化の進捗状況は。 イ 施設整備方針の見直しの可能性は。 ウ 愛野公園野球場の在り方についての検討状況を問う。 (2) スポーツを核とする交流人口の拡大に向けては、小笠山総合運動公園・エコパ内に硬式野球場の併設が必要と考えるが、 ア 野球場併設における波及効果をどう捉えているか。 イ 地域スポーツコミッション構築に向けた取組の状況について ウ 小笠山総合運動公園・エコパを核とした、スポーツの場におけるオープンイノベーションの推進を図る考えはあるか。 (3) 小笠山総合公園・エコパ内への硬式野球場の併設推進に向けた官（近隣市町）民協働による機運醸成に取り組むことへの見解を問う。				市長

質問順序	5	議席番号	11	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>消防団に自治会が協力金を出している問題</p> <p>袋井市内全ての自治会がそれぞれ各地域消防分団に、協力金を出しています。かなり以前から行われており、災害や火事が起きた際にお世話になるからいわば当然であるかのごとく思われてきました。しかし浜松市では、浜松市内の消防分団が協力金を懇親会や旅行費に使っていることが判明してから、分団の幹部研修で協力金をもらわないように指導している。袋井市では、自治会費が高いからと自治会加入者が減少している実態もあり、自治会費の使い方の観点からも見直す必要があると思われる。</p> <p>(1) 地域により消防分団に自治会が出している協力金の金額が異なる。市は具体的な地域ごとの協力金の額を把握しているか。</p> <p>(2) こうした慣例を当局としてどのように考えているのか。</p> <p>(3) 問題があると考えるなら、改善する意図はあるか。具体的には浜松市のように、受け取らないよう各消防分団に要請するとか、分団運営に必要な経費は全額公費負担で賄えるよう予算措置をするとかの方法が考えられる。自治会長との話し合いも必要だ。当局の対処方法を問う。</p>				市長
2	<p>自転車を利用して通学する市内高校生がヘルメットを購入する際、補助金を出してはどうか</p> <p>自転車を利用する人は事故防止のため、ヘルメットを着けることが、罰則はないものの努力義務化された。高校生のヘルメット着用率が低いことが社会的に問題になっている。かっこ悪いとか、3年間だけ使用するのに購入経費が負担に感じられるなど、いろいろな事情もあり、着用が進んでいない。県内では、高校生のヘルメット購入に補助金を出すところも出てきた。袋井市でも補助金支給に向け、検討してもらいたい。</p> <p>(1) 県内他市町の補助金支給の令和5年度の実態を把握しているのか。</p> <p>(2) 来年度から支給できるよう予算化の検討をしてほしいが、当局の見解を問う。袋井市在住で市外の高校に通う生徒の中に、自宅から最寄りの駅まで自転車を利用している者もいる。また市外に住み、電車で来てから市内の高校に自転車通学している生徒もいる。袋井特別支援学校高等部の生徒も同様である。もし補助金を出すとなると、袋井市在住の生徒に限るのか、市内の高校に通う全ての生徒を対象にするのか、難しい判断を迫られるが、当局の考えを問う。</p>				市長

質問順序	5	議席番号	11	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3	<p>市営駐輪場オートバイの駐輪場所改善に向けて</p> <p>現在オートバイの袋井駅前駐輪場は、袋井駅東自転車等駐車場、袋井駅西自転車等駐車場及び袋井駅南自転車等駐車場に設けられている。袋井駅東自転車等駐車場への出入りは、斜面が急な通路で自転車も同じ通路を使い出入りしている。危険を避けるため、降りてくださいとの掲示が出されているが、早く出入りしたい利用者の中には乗ったまま出入りする人がいると聞いている。市民からも危険である・改善すべきだ、との声が寄せられている。</p> <p>(1) 袋井駅東自転車等駐車場の北側の通路の傾斜が急である現状を、当局はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 危険だから掲示を出しているが、実際に守られているかどうか、当局は実態把握と指導をしているのか。</p> <p>(3) 袋井駅西自転車等駐車場にも自転車とオートバイ駐輪場がある。現在袋井駅東自転車等駐車場を利用している方に、一定の変更期間を置き、来年度から全て西側に駐輪してもらったらどうか。また西側に自転車を契約して駐輪している利用者に、袋井駅東自転車等駐車場と袋井駅南自転車等駐車場を利用してもらうよう働きかける必要もあるが、当局の改善に向けての考えを問う。</p>				市長

質問順序	6	議席番号	16	質問者	大場 正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	橋梁の通行止めについて 磐田市と袋井市延久の間に架かる新屋橋は長年、地域住民の生活道路として機能し、地元にとっては磐田市への往来に欠かせない橋である。しかし、昨年の落橋流失によって、現在、長引く通行止め措置に伴い、大きな影響が出ている。 (1) 市はこの新屋橋通行止めの影響について、どのような認識を持っているのか、今後どのように考えているのか伺う。 (2) 新屋橋以外の流失落橋があった橋梁について、復旧や撤去に関する工事着手、完了時期の目途は立っているのか伺う。				市長
2	急傾斜地対策事業のその後について 令和4年6月議会にての質問を受け、「市単独事業による助成制度を先進事例の調査や、現状の調査を行うなど研究していく」との答弁であった。その後の当事業の進捗を伺う。 (1) その後1年以上経過したが、事例の調査や現状の調査の取組状況について伺う。 (2) 同じ場所に住み続けたいと思っている市民への対応が必要と思うが、市の認識はどうか伺う。 (3) 急傾斜地の崩壊による災害から市民を守るため、市民の安全に責任を持つ自治体として、なすべきことは一体何があるのか伺う。				市長
3	土砂崩れに対する事前の備えについて 崖地の崩壊等により住民の生命に危険を及ぼすおそれのあるレッドゾーン内から安全なところに住宅の移転を行おうとする者に補助金を交付する、がけ地近接等危険住宅移転事業を創設している。 (1) これまで我が市ではがけ地近接等危険住宅移転事業を活用した移転の申請は何件あったか伺う。また、進展していない理由、課題は何か伺う。 (2) 今後、必要な方に移転してもらうため、インセンティブを高める必要があると思うが、その点についての市の認識はどうか伺う。 (3) 当事業は土砂災害警戒区域であるイエローゾーンでは同規模の土砂崩れが発生しても活用できない。この点の改正を検討すべきと考えるがどうか伺う。				市長

質問順序	6	議席番号	16	質問者	大場 正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
4	災害に備えた道路河川周辺の予防伐採の推進について 台風シーズンを迎え、大きくなった樹木の倒木リスクを心配する声が聞かれる。台風などにより倒れた際、道路や河川をふさぎ、通行支障、河川の閉塞や橋梁の落橋流失の可能性も考えられる。 (1) 発災時に道路の通行止めや河川の氾濫を防ぎ、迅速な災害復旧に係る資材の緊急輸送支援を図る観点からも道路河川周辺等の予防伐採について、どう考えているのか伺う。 (2) また、予防伐採について、国・県の補助事業があるのか伺う。				市長
5	道路や河川堤防の液状化対策について 南海トラフ大地震がいつ起こってもおかしくないと言われている。道路や河川堤防について、液状化の危険性を予見し、対策を講じていくことが大切である。全市的に改めて地盤の調査、地下水の状態を調査し、予想される被害想定に基づいて被害想定額等を試算し、対策に取り組むべきと考える。 (1) 我が市では液状化現象発生による道路や河川堤防の隆起・陥没等の危険性について、どのように把握されているか伺う。 (2) 今後、優先的に対策を行うべき箇所を明確にし、対策に取り組んでいくべきではないかと思う。市の見解を伺う。				市長

質問順序	7	議席番号	12	質問者	竹村 眞弓
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	学校体育館の熱中症対策について 気候変動の影響により、年平均気温は世界的に上昇し、日本でも上昇傾向にあります。環境省のまとめによると、最高気温35℃以上の年間日数は年々増加し、特に2000年代に入り顕著に増加しています。しかし、さまざまな理由で学校体育館へのエアコン導入が進んでいないのが現状です。中学校では、85%が体育の授業や部活動などの運動中に熱中症が起きているということです。最近では、7月末に部活動を終えた中学生が熱中症で亡くなるという事故が起きました。猛暑による熱中症への対策として、学校体育館への空調設備の導入は、今後不可欠なものとなると考えます。 (1) 学校体育館への空調設備の必要性の認識について伺う。 (2) 体育館使用における熱中症対策はどのように行っているのか伺う。 (3) 避難所機能の観点からも学校体育館への空調設備導入への取組は考えているのか伺う。				教育長
2	保育環境について 静岡県牧之原市の認定子ども園でのバス置き去り事故後も同様の事故が起き、保育施設の事故件数は毎年増加しています。また、保育士による子どもたちへの虐待ともいえる事案など不適切保育も大問題となっています。国の打ち出す緊急対策を実施するには、職員数が絶対的に不足しています。悲劇を繰り返さないために、そして、安全な保育環境には現場の努力だけでは限界があります。国の保育士の配置基準は、世界の主要国と比べて低すぎます。全ての子どもに最善の教育を保障する「子どもの権利条約」にある子どもの権利を守るためにも、保育の質の担保が重要です。改善されない配置基準により過酷な労働環境が続く離職の要因ともなり、子どもの権利や育ちを保障しなければいけない保育現場での命に係わるさまざまな不適切保育の原因ともなっています。 (1) 保育士の労働環境の現況は把握しているか、保育士との意見交換会などは定期的に行っているのか。 (2) 現在の保育現場の職員配置や保育環境で、保育士の離職防止や、子どもの権利や育ち、安全が守れると考えているのか伺う。 (3) 保育環境の課題への今後の具体的支援や取組について伺う。				教育長

質問順序	8	議席番号	20	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	中小企業支援策 本市経済は中小企業・小規模企業に従事している約6割の従業者によって支えられている。コロナ禍以降、一層厳しい経済環境下、当該企業への支援が求められている。 (1) 中小企業・小規模企業振興基本条例の導入の考えについて ア 中小企業・小規模企業振興基本条例を導入する考えはあるのか。 イ 条例に中小企業の受注機会の増大をさせていく条文を。 ウ 条例に中小企業・小規模企業振興会議開催の明記を。 エ 条例に労働団体の参画や役割も明記しては。 (2) 静岡理工科大学内に設置された中小企業の支援策として期待される「ふくろい産業イノベーションセンター」のこれまでの成果と今後の展開は。				市長
2	教育支援問題 本市では市内小中学校16校のうち、半数の学校において、教育振興会または学校後援会の名称の下、学校区に会が組織化され、住民の税外負担によるソフト・ハード面への支援が行われている。 (1) 県内の市町でこのような税外負担を導入している市町はあるか。 (2) 税外負担による地域の教育（学校）支援に対する教育委員会の見解は。 (3) 税外負担で存続すべき事業、存続させなくても良い事業の認識は。 (4) 当該制度導入による教育効果は。学校間格差が生じるのではないか。 (5) 後援会・振興会等で整備した遊具の管理責任と今後の管理方針は。 (6) 旧浅羽町時代に整備された老朽遊具の更新と管理方針は。 (7) 教育に必要な経費は財政当局で措置すべきと思うが当局の見解は。				教育長
3	防災対策 県の第4次地震被害想定では本市は全壊・焼失棟数が約15,000棟、半壊棟数約9,600棟、そして人的被害も死者数600人が予想されるなど、全国屈指の震災ハイリスク地域となっている。 (1) TOUKAI-0 総合支援事業による住宅耐震化について ア 昭和56年5月31日以前の約1,360戸の耐震化計画の進め方は。 イ 昭和56年から平成12年までの本市の木造住宅の倒壊予測は。 ウ 昭和56年から平成12年までの木造住宅の耐震化策は。 エ 昭和56年から平成12年までの2階屋根の軽量化支援はできないか。 (2) 感震ブレーカーの設置状況と今後の当該補助事業の進め方は。				市長

質問順序	9	議席番号	7	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	認知症問題 (1) 認知症と診断されている患者数はどの程度となっているか。 (2) 認知症対策の課題をどのように捉え、課題に対してどのように対応しているか。 (3) 認知症に係る予防対策と早期発見についてどのような対策を考えているか。 (4) 次期「袋井市長寿しあわせ計画」において、認知症に関する方向性の考え方は。				市長
2	教育問題 (1) 現状における「校則」あるいは「生徒心得」などについて、教育委員会としてどのように評価しているか。 (2) 生徒のボランティア活動の考え方は。 (3) 不登校の児童生徒の現状と不登校の児童生徒への対応は。				教育長